

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふぁみりあ真伝		
○保護者評価実施期間	8 年 5 月 10 日 ～ 8 年 5 月 31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	8 年 6 月 1 日 ～ 8 年 6 月 6 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	8 年 6 月 12 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来を見据えた支援や情報の提供	同法人、同じ棟に就労支援継続B型が隣接していることをいかし、密な連携や少し先の将来を見据えた支援プログラムの実施 ・就労に向けた軽作業や生活動作の練習 ・実習先としての紹介や交流会の実施	本人の希望や思いに沿ったより具体的な支援の提供やその機会を大切にしたい ・子ども会議の機会を増やす ・面談や相談を通しての意思確認
2	密な職員連携による安定・安心感のあるスケジュール	利用者の気持ちに寄り添った、安心の出来るスケジュールの設定 ・急な予定変更が起きないように、職員間での密な事前の共有（朝礼や終礼等） ・変更点がある場合は、始まりの会でホワイトボードに記載や掲示（視覚支援）をしたり、活動切り替わりの場面では早めの声かけを行っている	予定や活動の目的の理解をより深められるよう、事前の説明や意思確認を大切に声を掛けていきたい。保護者へのイベント、スケジュールの告知等より細かく行って行きたい
3	保護者からの相談援助や傾聴の実施（※評価表より、評価の高かった項目を参照）	保護者へは児発管への相談、懇談会のみならず日々の送迎や文章でのやり取りにおける記録作成の研修実施や言葉かけについて朝礼や終礼でも共有を心がけている	支援者と、支援対象者ではなく、事業所と家庭がチームとなって支援にあたれるよう可能な限りのねらいや主訴の共有を図っていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	戸外での実地演習やレクレーションの取り組みが少ない	傾向として、中学～高校性の在籍も多い。身体も大きく戸外での自制が難しい、人混みが苦手、思春期に入り異性との関わりから距離をとろうとする等利用児の特性を鑑みた際時間や場所、男性職員等対応可能な職員配置の都合が合わず、実施まで至らないケースが挙げられる	新しい職員の確保とともに、より専門性を有した職員の育成や職員間の連携の強化を目指したい。実地での行動を想定した活動を想定した演習にも力を入れていきたい
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ふぁみりあ頁伝
------	---------

公表日 8 年 7 月 1 日

利用児童数 8 年 6 月 30 日

回収数

17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2		1		各種法令に沿った職員配置を遵守して支援を提供しております。職員の急な欠席や災害等必要な職員配置を満たす事が難しい際は、利用児の受け入れが難しい事を出来る限り迅速に、ご連絡いたします
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2			・特性に合った関わり方をしてくださるので安心して通所できる場所として通えています	放デイガイドライン及び本人様の個別支援計画に沿った支援の実施を行っています。HUGシステムでの記録や懇談会等でお伝えできればと思います
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		HPにて公表しております。掲載している支援の他、本児に合わせた、個別の支援も大切に支援を提供しております
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					個別支援計画前に記載しています。より具体的な達成目標の設定も考えていきたいです
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1				主にSSTや就労に向けた活動、集団遊び、生活動作等支援プログラムから＜個別＞＜集団＞での活動に分類し提示しています。やり慣れた活動に継続して取り組めることと共に、活動の発展や子どもの気づきを促せるよう声を掛けています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	1	10		場利用利用。保護者様からの希望等見られませんが、必要に応じて機会を設けていきたいと考えています
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1			保護者交流会や、説明会、PU(ママ会)の実施を行い保護者様との交流やペアレントトレーニングの機会も大切にしています	保護者交流会や、説明会、PU(ママ会)の実施を行い保護者様との交流やペアレントトレーニングの機会も大切にしています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1			・事業所内での様子を教えて頂けるので子どもの様子が良く分かり、ありがたいです	体調や様子についてはLINEや送迎時に口頭で伝えていきます。懇談会等では本人様の近況や将来も語らえ、一緒に考えていきたいと考えています
保護者 への 説明 等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				・困ったことや、何をすべきかなどを相談できることがとても安心出来ます	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	4	1	3	・今のままで良い	法人での連携を強め、イベントの周知や実施を行い保護者様との交流やペアレントトレーニングの機会も大切にしています。きょうだいの支援に関しては、改めて検討、情報提供もできればと考えています
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1		1		必要に応じて懇談会を実施しています。個別支援計画にもその旨を記載し、周知もその都度行っています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	1			活動概要や行事予定等LINEの他HUGシステムでも通知を増やしていければと思います
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1				
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			3		事業所にてマニュアルの作成、委員会や研修の実施を行っています。また、契約時に説明をさせていただいております他、懇談会でも必要に応じて安全計画等の周知を行っております
非常 時 等 の 対 応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			3		避難訓練等の実施、毎年12月には引渡し訓練を実施予定です
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			1		送迎車の設備点検、置きまり防止ブザーの設置や食物アレルギーへの置き取りの他くがら>支援をしない等職員への安全に関する研修も実施しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			3	・事故が無いので分からない	軽度の場合は送迎時に口頭でお伝えしていたり、LINEや電話にて必要に応じて伝達に努めています。また、事業所ではヒヤリハットの共有をし、事故防止に役立っています
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17				・安心して日々通所することで、生活リズムも崩れることなく穏やかに過ごせています	
満足 度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1				利用者様の気持ちに寄り添いながらも、将来を踏まえた最善の利益を考え、支援を提供していければと考えています
	29	事業所の支援に満足していますか。	17					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ふぁみりあ真伝		8 年 7 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			基本定員を超えての受け入れの際は、あらかじめ基本人員の配置のみならず、安全な支援体制が整えられた状態であるかも考慮しながらご利用の案内を行っています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・1日の流れが視覚的に確認できるようにしている ・スケジュールや入退室、使用の有無が分かるように掲示物を設置している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日の掃除、活動用具の整理整頓 ・広く運動する活動が出来る空間を設けている ・平日は職員が清掃。学校休日は支援の一環として子どもたちと事業所内の清掃を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・バーテーション、ついたてのある机を設置 ・多動傾向のある子や気持ちを落ち着きたい子がいる時に使用	バーテーションを設置し、状況によってクールダウン用の小部屋、仕切りのある空間等の確保ができるようにしています
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・朝・夕に業務確認や利用者の様子と対応について共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価会議の実践。共有してひとつずつ検討している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・日々の気づきや考えたことを提出、集計し職員会議の場で共有。改善案についての協議を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		契約時の重要事項説明書のご説明の際、行っていないことを明示しております。必要に応じて、依頼を検討致します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・市や福祉関連の研修等に参加 ・ジョブメドレーでの研修実施と共に常動は月曜日に30分程度の研修を実施している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・HPIにて公表している ・年・月・日毎のプログラムを作成し、個別、集団での活動が担保できることに役立てている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・懇談会や電話の聞き取り、本人面談等を実施。モニタリングを基に個別支援計画の作成を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・サービス担当者会議や月の職員会議での共有、周知。職員がすぐに個別目標を確認できるところに掲示し、支援の共通理解を深めている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		同上	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・就労アセスメントシートを基にライフステージに合わせて身につけたい態度や動作等チェックシートを作成し評価をしている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・個別支援計画に記載している	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・日々の朝礼終礼や、職員会議を実施し活動の計画立案に広く職員が参加できるようにしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・個別支援計画に沿って、間断ない支援を提供するとともに、月の支援プログラム（活動表）の作成、月ごとでグループ活動の担当を交代する等支援のマンネリを起こさないことに留意している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		日毎の支援プログラムにく集団> <個別>等活動種別を記載したり、事業所での生活を通して5領域のねらいを充足できることを目標に支援計画を立てている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・職員が出勤してきたタイミングで打ち合わせをしている（朝礼）	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・毎日、終礼を行い当日の支援について共有している。翌日の時間帯ごとの職員配置の有無等スケジュールの確認も行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用児個々のファイルを作成し、活動記録のファイリングを行っている。また、HUGシステムでの<本日の様子>は、保護者も閲覧可能となっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			個別支援計画は6か月更新を基本としていますが、必要に応じて、モニタリングの実施及び計画の更新も行っていきたいです
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		「自立支援活動」「生活能力向上活動」「創作表現活動」「地域交流活動」の視点を織り交ぜつつ、支援提供を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・「あなただったらどうする？」といった質問を投げかけることで考える機会を持てる関わりを大切にしている ・自分で考える時間を設けながら活動を進めている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・支援者が集まっている	開所1年目になり前例がないですが、児発管が参加を予定しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・関係医療機関等の他事業所との併用利用	現行前例がありませんが、三河病院（協力医療機関）主催のイベントや研修に参加予定しています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・利用者・保護者様を通じてが学校の情報を得ており、LINEにて連絡をとっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		6		現行該当する利用者は見られませんが、必要に応じて対応予定です
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・法人他事業所（就労継続支援B型事業所）との密な連携を行っている	現行該当する利用者は見られませんが、必要に応じて対応予定です
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・外部研修への参加	市役所からの研修通知その他研修案内においては、事業所でも共有し必要に応じて参加予定です
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・外部レク等を検討	現行希望等見られませんが、必要に応じて機会を設けていきたいと考えています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・連絡会への参加	児発管、常勤を主として参加を予定しています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・法人で実施しているイベントの周知を通して、保護者交流会や、説明会の実施を行い保護者間での交流やペアレントトレーニングの機会も大切にしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		同上	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		HPを活用し、支援プログラムより支援やイベントの周知に役立てています。HUGシステムでは日々の子どもの様子についても伝達している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時に丁寧に説明しています。取扱いについても重要事項に定め、記載している	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		PDCAサイクルを主とした計画の実施と説明を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	・希望があれば開催予定 ・ワークスのイベントは周知	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			現行、該当例がありませんが管理者が窓口となり、対応します。職員への情報伝達、対策について話し合う予定です
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・HUGで様子を伝えている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・契約時に説明し、同意書にもサインをいただいている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・ホワイトボードに写真入りの名札や傘のイラスト等を貼り、視覚支援の一環として活用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・法人イベント（講演会、交流会等）の周知	過去に地域のイベント（真伝祭り）の会場としたことがあります。今後も積極的に実施できればと考えています
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・BCP等含む訓練や研修の実施。懇談会時に必要に応じて、安全計画の作成利用者様への周知を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・同上	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・対象時には個別面談や懇談会で確認 ・契約時に確認	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	5		現行対象児がおらず、指示書に基づいた対応は出来ていないです。保護者からの聞き取りは実施し、おやつ等への配慮は行っています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・懇談会にて周知	その都度、口頭での説明になっています。より詳しい安全計画の周知の機会等作ってきたいです
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハット事例があれば当日中に共有。 ・書面でも共有。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・＜ジョブメドレーアカデミー＞の研修を受け専門性の向上を図っている。また、感染症や虐待、身体拘束等必要な研修も受講している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・個別支援計画への記載や契約時に説明を行っている。 ・＜ジョブメドレーアカデミー＞の研修を受け専門性の向上を図っています。契約時に説明し、該当ケースがあった際は記録に取るように書類の整備を行っている	